

(3) 教育研究推進計画

1 研究主題

基礎・基本の定着を図る授業の工夫・創造
 ～一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を通して～

2 主題設定の理由

(1) 令和5年度の取組

研究主題「伝え合う良さを実感できる表現力の育成」

～smPとキャリア教育の視点(評価)に重点を置いた学習指導を通して～

【取組内容】

① smPを意識した授業実践
 s(しっかり考えなければならない課題の設定「主体的な学びの場」)
 m(問題解決するために協働して考えを深めたり, 新たな考えを生み出したりする時間の設定
 「協働的な学びの場」)

P(自分の考えを表現する場の設定「学びを深める場」)
 ・「生徒の言葉」で, 本時のまとめをする時間と場面の確保
 ・「生徒の言葉」で, 学びを振り返る時間と場面の確保

具体例「授業終わりに発表の場を設定する。」
 「ICTを用いてふりかえりカードの生徒の記入を次時の導入で紹介する場を設定する。」

② キャリア教育のルーブリックに基づいた授業実践
 ・各教科と「めざす資質・能力」とのつながりを整理
 ・評価基準の明確化と共有
 ・本時で身に付けさせたい資質・能力がみとれる振り返りの充実
具体例「振り返りカード(別紙)」

③ ICTを活用した学習の充実(情報教育と連動)
具体例
 ・朝読書の時間で取り組む。
 ・各教科の宿題や自主学習等で活用する。

(2) 生徒実態(令和5年度各種調査結果より)

【実力試験】(全国平均との差の比較)

1年	国語	社会	数学	理科	英語
第1回	-5.4	-6.9	-6.7	-8.5	-6.4
第2回	-4.6	-15.9	-5.6	-1.5	-6.3
比較	+1.2	-9.0	+1.1	+7.0	+0.1
2年	国語	社会	数学	理科	英語
第1回	-2.7	-7.1	-8.0	+6.2	-6.7
第2回	-2.0	+6.3	+4.4	+3.3	-7.4
比較	+0.7	+13.4	+12.4	-2.9	-0.7
3年	国語	社会	数学	理科	英語
第1回	-1.0	-2.2	-9.2	+9.0	-7.0
第3回	-1.5	-10.0	-4.3	+4.2	-4.3
比較	-0.5	-7.8	+4.8	-4.8	+2.7

【三次市学力到達度検査】

1年	国語	社会	数学	理科	英語
本校	62.4	48.7	59.6	63.5	48.9
全国	62.0	58.8	53.7	60.8	54.2
比較	+0.4	-10.1	+5.9	+2.7	-5.3
前年度	国語	社会	数学	理科	英語
比較	—	—	—	—	—
2年	国語	社会	数学	理科	英語
本校	67.7	43.9	53.2	62.6	42.9
全国	67.8	45.2	50.1	57.0	49.5
比較	-0.1	-1.3	+3.1	+5.6	-6.6
前年度	59.5	61.9	52.4	62.9	50.6
比較	+0.5	+0.4	+1.5	+6.0	-0.8

【資質・能力アンケート】

(主体性)

質問項目 (i-check)	1年		2年		3年	
	1回	2回	1回	2回	1回	2回
21 あなたは、ものごとを最後まであきらめずにやりぬく方ですか。	79.5	63.2	84.4	55.2	74.1	72.5
22 あなたは、ものごとを行うとき、次に何をすべきかを自分なりに判断して行動していますか。	74.3	78.9	81.3	75.9	92.6	84.3
89 夢中になった、勉強が面白いと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がありますか。	66.7	60.5	68.8	55.2	66.7	72.5

(協調性)

質問項目 (i-check)	1年		2年		3年	
	1回	2回	1回	2回	1回	2回
28 学校生活の中で、クラスみんなが、あなたに注目してくれることがありますか。	48.7	47.4	46.9	62.1	63.0	60.8
30 学校の授業やクラスの役割などで、自分は先生から期待されているんだな、友だちからたよりにされているんだな、と感じることがありますか。(授業とは、体育など全ての教科の授業を指します)	46.2	50.0	53.1	58.6	72.2	68.6

(コミュニケーション能力)

質問項目 (i-check)	1年		2年		3年	
	1回	2回	1回	2回	1回	2回
45 クラス全体やグループ、友だち同士で話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言していますか。	56.4	60.5	62.5	58.6	70.4	66.7
46 あなたは、学校生活の中で他の人が発言したり、発表したりするときに、質問をしていますか。	30.8	13.2	31.3	27.6	35.2	27.5
47 クラスの多くの人や仲のいい友だちと意見がちがっても、自分が正しいと思ったことは、それを主張することができますか。	51.3	55.3	50.0	41.4	64.8	58.8
48 あなたは、学校生活の中で発言をするとき、他の人と同じ意見だった場合でも、自分なりに考えて発言していますか。	48.7	42.1	46.9	34.5	57.4	54.9
49 クラスの話し合いや友だちとの間で意見が合わなかったとき、みんなが納得できるように考えて、提案していますか。	43.6	50.0	53.1	58.6	61.1	56.9

【実力試験より】

1学年は4科目、2学年では3科目、3学年では2科目で全国平均との差が第1回目より向上している。また、2学年は3科目、3学年では1科目が全国平均を越えている。

一方で、1学年は全教科で全国平均を越えていない。特に社会科については、16%ほど減となっている。

【三次市学力到達度検査より】

1学年は3科目、2学年では4科目が全国平均を越えている。2学年においては、作戦度に比べ2科目で、全国平均との差が向上している。特に、社会と英語については2学年ともに全国平均を越えていない。

これらのことから、全教科において今までの学習スタイルに加えて新たな指導方法の工夫・改善・挑戦が求められる。

【資質・能力アンケートより】

1年生においては、それぞれの資質・能力で向上が見られた。しかし、「46 あなたは、学校生活の中で他の人が発言したり、発表したりするときに、質問をしていますか。」の項目では、2割に達しておらず、表現力(コミュニケーション能力)に課題があることがわかる。

2年生については、協調性の項目はすべて前回よりも向上しているものの、主体性、コミュニケーション能力については向上の様子があまり見られなかった。特に、1学年と同様に、「46 あなたは、学校生活の中で他の人が発言したり、発表したりするときに、質問をしていますか。」の項目では2割程度であり、表現力(コミュニ

ケーション能力)が本校において喫緊の課題であることがわかる。

3学年においては1つの項目を除いて、前回よりも数値が下がっている。3学年においては、中学校卒業後の進路での更なる学びに期待したい。

3 今年度の取り組み

【取組内容】

① 個に応じた授業実践

1) 発展的な学びのための生徒へのしかけ(自身のさらなるレベルアップへの挑戦)「Step up」

【具体例】「発展問題を与える」「考えを説明させる」「課題を設定させる」

2) 基礎・基本の定着のための生徒への手立て(授業に参加)「Motivation」

【具体例】「ドリル学習の実施」「学びを調整させ、生徒に主体性をもたせる」

3) 学びを深め、新たな課題を設定する場の設定(自分の考えを表現する)「Presentation」

【具体例】「アウトプット型の授業の確立」

・気付きや考えを全体の場で発表させる

・授業のまとめを発表させる

・「なぜ?」を大事にし、繰り返し発問で授業をつなぐ。

② 生徒に学びを選択・調整させる場の設定

【具体例】「適用題の工夫」(ABC問題(A問題:本時の学習で学んだ内容とほぼ同じ, B問題:本時の学習の学びでの表現を少し変えたもの, C問題:発展的・入試を意識した問題)を与え、個に応じた問いを与え、評価する。)

【具体例】「単元内自由進捗学習の挑戦」

・単元の見通しを持たせ、進める生徒はどんどん進ませる。進めない生徒は、評価がBになるように個別の支援や課題を与える。

③ 生徒の学ぶ意欲を向上させる仕掛け

【具体例】「定期試験の問題を授業の内容100%にすることで、生徒にやればできる、やらないからできないという体験をさせる。」

「宿題や家庭学習の与え方、問題集の解答の配り方を工夫するなどし、基礎・基本を確実に定着させ、学習に対する自信を持たせるとともに家庭と学びをつなぎ、学習への不安を取り除く。」

4 検証方法【指標】

(1) 学力調査

① 三次市学力到達度検査【全国平均以上】

② 各種実力試験【1・2学年:第1回目と第2回目の比較, 3学年:第1回目と第3回目の比較】

③ 定期試験【達成率30%未満の生徒数の割合の1学期、2学期、3学期の比較】

(2) 総合質問紙調査(i-check)(全学年)【第1回と第2回の比較】

① 授業に関する項目

(41) 好きな教科や授業がありますか。

(42) 最近、学校の勉強が難しくなったな、と感じることがありますか。

(43) 学校で学んだことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。

(44) あなたは、授業や日常生活の中で、不思議だな、どうしてだろう、と思ったことを調べていますか。

② 主体的な学びに関する項目

(71) 学校の授業以外で、週に何日くらい勉強していますか。

(72) 勉強するときは、自分で計画を立てていますか。

(73) 学校の授業の予習や復習をしていますか。

(75) ノートの取り方について、自分なりの工夫をしていますか。

5 研究推進計画と内容

月	内 容
4月	・研究推進計画の修正と研修計画の確認 ・単元内自由進度学習について(教頭先生)
5月	・授業交流週間(1回目)
6月	・校区内授業研究会(予定):教育委員会
7月	・i-check(第1回)実施, ・授業交流週間(2回目)
8月	・校内研修(自分の考えを表現する場の設定「学びを深める場」について)
9月	・校区内授業研究会(予定)
10月	・授業交流週間(3回目) ・生徒アンケート(1回目)
11月	・校区内授業研究会【本校】
12月	・研究成果の検証と今後について ・授業交流週間(4回目)
1月	・i-check(第2回)実施授業
2月	・三次市学力到達度検査実施 ・生徒アンケート(2回目) ・授業交流週間(5回目)
3月	・研究のまとめと次年度に向けた推進計画の作成

6 授業提案計画

令和4年度	_____	授業提案(11月) 佐久間(1A・総合) 河村(3A・道徳)
令和5年度	_____	授業提案(11月) 全クラス提案(総合)
令和6年度		授業提案(11月) 全クラス提案(総合・教科・道徳)

7 その他

授業交流週間について
(別紙)